

「授業改善交流研究会」の開催について

1 ねらい

異校種の教員が顔を合わせて、学校間の接続を意識して授業研究会や情報交換会、学習会を行うことで、指導方法や指導内容に関して学び合い、授業の質を高めたり、生徒たちのより効率的な習得を促進させたりする。

2 研究会での協議内容

- ・ 習熟度に応じた授業の進め方
- ・ 接続を考慮した効果的な授業および重点ポイントの確認
- ・ 校種を越えて大切にしたい考え方、具体的な目標
- ・ 指導と評価の一体化 等

3 開催方法

- ・ 各小中高が行う公開授業及び授業研究会に、校種を越えて参加を呼び掛ける。
- ・ 授業研究会の協議項目の1つに、小中連携や中高連携の観点からの検討を加える。
- ・ 協議内容を「授業改善事例集」作成メンバーに伝え、事例集を充実させる。

「中高一貫授業改善事例集」の作成について

1 ねらい

新学習指導要領の趣旨を踏まえた、指導の系統性を重視した授業改善事例集を教科ごとに作成することで、中学・高等学校間の教科指導の連続性を充実し、ひいては福井県の中高生の学力向上に資する。

2 内容

(1) 指導の系統性の解説

新学習指導要領の「指導事項」、「内容の取扱い」等について、小学・中学校間、中学・高等学校間の指導の系統性を解説（系統表を掲載）する。

(2) 単元指導プラン例

指導の系統性を意識した中学校および高等学校段階での単元指導プランを作成する。単元指導プランは、生徒の習熟度、高等学校卒業後の進路志望等を踏まえて作成する。

(3) 入試に関する情報提供

県立高校入試、大学入試センター試験、個別学力試験等の「出題のねらい」「出題科目」「出題傾向」等に関連した教科学習上のポイントを解説する。

3 作成方法

(1) 作成メンバーについて

中学校教育研究会および高等学校教育研究会に所属する教諭と指導主事からなる事例集作成ワーキンググループを組織する。教科部会長が監修にあたる。

(2) 仕様について

- ・ A4判、5教科合冊
- ・ 小、中、高校に1冊配付、電子データを「教育情報フォーラム」に登録

小中高一貫教育を進める、教員研修の改善について

1 ねらい

教科別に小中高の校種を越えて授業研究、教材研究等を行う教員研修を実施し、教科指導の系統性に対する理解を深めることで、教員の指導力向上、自らの校種における授業改善を進める。

2 内容

校種を越えた授業研究、教材研究をする目的や授業研究会の視点等についての講義および意見交換、教材研究の発表等

3 改善方法

- ・担当指導主事が小中高連携の情報を収集
(H24の授業改善交流研究会や、中高一貫授業改善事例集を参考にする)
- ・情報を整理して、講義内容を決定
- ・現在の基本研修の一部に取り入れ、教職経験年数に応じて、必ず研修に参加する機会を設ける。
(例) 10年経験者研修の2日目(クロスセッションの日)午前中2時間程度
5年経験者研修の2日目(11月)の午後2時間程度

「先輩データベース」の整備および「あこがれリレー塾」の開催について

1 ねらい

福井県出身者で、各分野で活躍する人物を高校生に紹介し、身近に感じてもらうことで、高校生がそれぞれに夢や目標を持って、その実現に向けて学習に取り組むことができるよう支援する。

2 内容

様々な分野で活躍する福井県出身者に対し、「先輩データベース」への登録の協力を呼びかけ、講演会(「あこがれリレー塾」)の開催を希望する高校に講師として登録者を派遣する。

3 実施方法

(1) データベース構築

県立高校およびブランド営業課等から、様々な分野で活躍している人物を推薦してもらい、趣旨に賛同してくれた方をデータベースに登録する。

登録者には、高校生に対するメッセージを併せて依頼する。

(2) データベースの公開

登録者の活動内容等の情報および高校生へのメッセージを「先輩データベース」としてデータベース化したものを「教育情報フォーラム」を通して各学校に提供する。

(3) 講演依頼の受付、講師の派遣

各学校からの講演依頼に応じて、登録者と日程・内容等について調整した上で、「あこがれリレー塾」の講師として各学校に派遣する。

「合格体験記」および「先輩だより」の作成

1 ねらい

本県出身の大学生から県内の高校生に対し、大学合格までの勉強方法等や、大学での講義や研究内容等を紹介してもらうことで、高校生に進路選択の参考にってもらうとともに、大学入学後の具体的なイメージを持ってもらい、学習意欲の喚起につなげる。

2 内容

大学に進学した県立高校卒業者に、大学合格までの体験を綴った「合格体験記」を執筆してもらうとともに、大学での講義や研究の内容を随時、「先輩だより」として報告してもらい、取りまとめた情報を高校生に定期的に提供する。

3 作成方法

(1) 合格体験記

各県立学校が作成している合格体験記執筆者の中から趣旨に賛同してくれた執筆者の原稿を集約して、大学や学部のバランスをとりながら福井県版の「合格体験記」を作成する。

「合格体験記」は、コメントを付したうえで、順次、電子メールで配信する。

(2) 先輩だより

各県立学校の卒業者の中から趣旨に賛同してくれる大学生を募り、「先輩だより」として、大学での講義や研究内容、学生生活等について報告してもらう。

「先輩だより」は、季刊誌として全県立高校に電子メールで配信する。

PTA 連合会と連携した学力向上・キャリア教育セミナーの開催

1 ねらい

保護者に対し、学力向上やキャリア教育に関する情報や県教育委員会の活動等を紹介し、学校教育の理解を深めてもらうことで、進路選択の際の参考にしてもらう。

2 内容

P T A 連合会と連携して、小・中学校の保護者向けのセミナーを開催する。有識者による講演会もしくはシンポジウム、学力向上やキャリア教育に関する教育行政の説明等を行い、あわせて保護者からの学力向上や進学に関する相談に応じる。

セミナーは県教育委員会と P T A 連合会との共催とする。

3 実施方法

(1) P T A 連合会に協力を依頼

県教育委員会でセミナーをセッティングし、P T A 連合会に保護者への参加の呼び掛けを行ってもらう。

(2) 実施回数、対象

年 4 回程度セミナーを実施する。

今年度は、嶺北、嶺南で小学校保護者対象と中学校保護者対象を、各 2 回実施する。

(3) 学力向上、進学等に関する相談の受付

講演等の終了後、相談受付の時間を設け、県教育委員会が学力向上や進学に関する保護者の相談に応じる。